

令和2年12月25日

報道機関 各位

「新型コロナウイルス流行による 学校教育への影響に関する調査」の報告について

新型コロナウイルスの感染拡大は、社会の構造自体を変化させ、学校教育にも大きな影響を及ぼしました。長崎大学は、今後の長崎の学校教育を考えていくために、まず「今年3月の学校の臨時休業と7月以降の感染再拡大は、学校教育にいかなる影響を与えたのか」について把握する必要があるという認識のもと、臨時休業中における学校の対応や、教職員・子ども・保護者の状況等に関するアンケート調査を行いました。アンケート調査は、長崎県教育委員会のご協力のもと、県下の公立小・中学校の先生方を対象に実施しました。

このたび、下記のとおり調査結果について報告いたしますので、取材方よろしくお願ひします。

記

- 1 日 時 令和3年1月7日（木） 11:00～ ※1時間程度
- 2 場 所 長崎大学事務局3階 第1会議室
(長崎市文教町1-14 文教キャンパス内)
- 3 出席者 長崎大学
総務担当理事 福永 博俊 (ふくなが ひろとし)
教学担当理事 森口 勇 (もりぐち いさむ)
地域教育連携担当副学長 中村 典生 (なかむら のりお)
長崎県教育委員会
義務教育課長 加藤 盛彦 (かとう もりひこ)
- 4 調査内容
実施期間：令和2年8月17日（月）～9月7日（月）
調査対象：長崎県内の教職員
実施方法：Webを活用したアンケート
調査項目：臨時休業中における学校の対応、臨時休業中から休業明け直後の教職員・子ども・保護者の状況、これからの学校教育への不安、コロナ禍の学校教育に必要な支援・措置など

【本リリースに関するお問い合わせ先】
国立大学法人長崎大学 広報戦略本部
TEL：095-819-2007